

令和6年度 学校評価

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察																																															
1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に向けていると思いますか。(感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にすること、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)	2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進 学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	いずれも児童及び保護者による肯定的回答が8割以上と高い割合を占めており、今後も児童の自己肯定感の高揚を図りながら、互いに助け合える集団づくりや主体的に学び合う授業づくりに努めていきたい。また、生徒指導三機能を大切にされた教職員による児童への関わりや教材研究の充実を定着させていきたい。しかし、教職員の肯定的回答と約1割の差があるので、児童がわかると感じる学習の振り返りや保護者への発信を増やしていかなければならない。																																															
<table border="1"> <caption>Item 1: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>26%</td> <td>58%</td> <td>6%</td> <td>7%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>48%</td> <td>38%</td> <td>5%</td> <td>8%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>43%</td> <td>54%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	26%	58%	6%	7%	1%	児童生徒	48%	38%	5%	8%	1%	教職員	43%	54%	1%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 2: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25%</td> <td>54%</td> <td>6%</td> <td>13%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>39%</td> <td>42%</td> <td>9%</td> <td>9%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>29%</td> <td>60%</td> <td>6%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	25%	54%	6%	13%	2%	児童生徒	39%	42%	9%	9%	1%	教職員	29%	60%	6%	3%
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	26%	58%	6%	7%	1%																																												
児童生徒	48%	38%	5%	8%	1%																																												
教職員	43%	54%	1%	0%	0%																																												
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	25%	54%	6%	13%	2%																																												
児童生徒	39%	42%	9%	9%	1%																																												
教職員	29%	60%	6%	3%	0%																																												
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進																																																	
3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進 学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスストライ (中学校) など)		児童の肯定的回答が7割に満たない回答結果であったので、今後は、特別活動の充実を展開しながら居場所ある学級づくりを図っていくとともに、児童一人一人の役割を明確にしながら集団の一員として参画する活動や機会を充実させていく必要がある。また、子どもたちが持続可能な社会の創り手となるように、ボランティア活動や地域行事へ参画する機会を学校でもコーディネートしていきたい。																																															
<table border="1"> <caption>Item 3: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25%</td> <td>57%</td> <td>5%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>30%</td> <td>37%</td> <td>11%</td> <td>18%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>49%</td> <td>47%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	25%	57%	5%	11%	0%	児童生徒	30%	37%	11%	18%	4%	教職員	49%	47%	3%	0%	0%																									
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	25%	57%	5%	11%	0%																																												
児童生徒	30%	37%	11%	18%	4%																																												
教職員	49%	47%	3%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていますか。	いずれも児童の肯定的回答が8割以上と高い割合を占めており、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行いながら、問題解決能力や言語能力などの生きる力を育てていきたい。また、1人1台のタブレット端末を活用した取り組みを行いながら情報活用能力も高めていきたい。保護者の肯定的評価が低いので、定期的に授業実践内容を保護者へ発信したり家庭学習の定着を図ってきたい。																																															
<table border="1"> <caption>Item 4: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>19%</td> <td>44%</td> <td>14%</td> <td>8%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>43%</td> <td>38%</td> <td>9%</td> <td>3%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>26%</td> <td>59%</td> <td>12%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	19%	44%	14%	8%	16%	児童生徒	43%	38%	9%	3%	8%	教職員	26%	59%	12%	1%	0%	<table border="1"> <caption>Item 5: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>24%</td> <td>52%</td> <td>6%</td> <td>14%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>47%</td> <td>35%</td> <td>7%</td> <td>3%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>44%</td> <td>50%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	24%	52%	6%	14%	4%	児童生徒	47%	35%	7%	3%	8%	教職員	44%	50%	3%	0%
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	19%	44%	14%	8%	16%																																												
児童生徒	43%	38%	9%	3%	8%																																												
教職員	26%	59%	12%	1%	0%																																												
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	24%	52%	6%	14%	4%																																												
児童生徒	47%	35%	7%	3%	8%																																												
教職員	44%	50%	3%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実 学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	7 インクルーシブ教育の推進 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	いずれも児童の肯定的回答が8割以上と高い割合を占めており、グループアプローチなどを通して児童同士が交流する機会を積極的に取り入れながら、児童相互による他者理解を促進してきた。特別支援教育の推進として、複数での校内支援体制を図るとともに、コーディネーターを中心に、部会による職員間の情報共有を定期的に行った。あわせて、今後もさらに関係機関との情報共有を積極的に行いながら、保護者による理解と信頼を高めていきたい。																																															
<table border="1"> <caption>Item 6: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25%</td> <td>46%</td> <td>11%</td> <td>6%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>53%</td> <td>30%</td> <td>5%</td> <td>3%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>43%</td> <td>54%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	25%	46%	11%	6%	11%	児童生徒	53%	30%	5%	3%	8%	教職員	43%	54%	3%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 7: Data for Guardians, Children, and Staff</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思う</th> <th>どちらかといえば、そう思わない</th> <th>そう思わない</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>51%</td> <td>9%</td> <td>5%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>47%</td> <td>37%</td> <td>5%</td> <td>3%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>26%</td> <td>63%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	20%	51%	9%	5%	15%	児童生徒	47%	37%	5%	3%	8%	教職員	26%	63%	10%	0%
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	25%	46%	11%	6%	11%																																												
児童生徒	53%	30%	5%	3%	8%																																												
教職員	43%	54%	3%	0%	0%																																												
対象	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	20%	51%	9%	5%	15%																																												
児童生徒	47%	37%	5%	3%	8%																																												
教職員	26%	63%	10%	0%	0%																																												

(3) 最適な教育環境の整備		
8 安全・安心な園づくりの推進	9 地域や家庭と連携した教育環境の整備	
学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。	学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。	児童の安全に対する意識は高い評価であったが、休み時間や下校中のケガ等が多く見られた。今後も職員や地域による校内巡回や交通指導を行うとともに、児童自身が危険を予測し、自ら回避するなどの「主体的に行動する態度」を育成する安全教育を目指していく。「地域や家庭との連携」では、昨年度に比べ保護者の肯定的評価が高くなっており、学校だよりや学級通信、連絡アプリ等での周知を積極的に行った結果と考える。生活科や総合的な学習では地域の方に講師として招くなどの人材活用ができたので、今後も幅広く積極的に活用していきたい。

(4) こどものいのちと権利の擁護		
10 こどもの最善の利益を守る環境づくり		
学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。		児童及び保護者の肯定的回答が8割に満たない回答結果であったので、今後は、校内教育相談体制の確立を図っていくとともに、児童一人一人の意見を反映させた行事や活動等を充実させていく必要がある。また、児童や保護者が相談できる時間等が確保できるように、教育課程や日課表を見直していく必要がある。

(5) 本校の教育		
11 教育目標	12 かしこく	
学校は、教育方針や教育目標をこどもや保護者に分かりやすく示していると思いますか。	こどもは、めあてを持ったり、友だちと話し合ったり、進んで発表したりして、意欲的に学習に取り組んでいますか。	
		「教育目標」は学校だけで毎回示すようにしていったが、昨年度とほとんど変わらない結果であったので、新たな提示方法を検討したい。「かしこく」では、昨年度と同様、児童による肯定的な回答が多かった。今後もめあて学習を行いながら、進んで発表できる学級の支持的風土や学習意欲を喚起する発問の工夫など職員の研修を積み重ねていきたい。

13 なかよく	14 たくましく	
こどもは、あいさつや返事、やさしい言葉遣いをしたりして、人と心豊かに関わっていますか。	こどもは、食事に気をつけたり、進んで運動をしたりして、健康的な生活ができていますか。	
		「なかよく」では、グループアプローチによる「託東タイム」や「たくトーク」などのSSTの取り組みを継続していることで児童のコミュニケーション能力は身につけてきている。「たくましく」では、児童の肯定的な回答が高い結果であり、給食時の食に関する教育や教職員と一緒に外で遊ぶ活動を定期的に行っていることが効果の一つとして現れている。今後も食事や健康面については家庭と連携していかなければならない。

来年度の具体的な取組について

○「進んで学び探求するこども」に向けて、生徒指導の三機能を生かした学級づくりを根拠に、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善を行う。本校の取り組みの中心である「託東タイム」やそれを活かした「たくトーク」を授業に取り入れ、対話（アウトプット）を増やしていく。タブレットや電子黒板などのICT機器を積極的に活用しながら、児童が意欲的・主体的に学習に取り組めるよう、職員研修や研究授業などを通して教師の授業力を向上させていく。今年度と同様、中学年と高学年に一部教科担任制を導入し、深い教材研究のもとでの質の高い授業を目指す。

○「なかよく助け合い励まし合うこども」に向けて、自分の居場所となる安心安全な学級・学校づくりを目指す。道徳の授業を中心に、道徳実践力の育成を目指すとともに、自己肯定感や自己有用感などを高めるために、全校活動の「花さき山」など自他の良さを認めあう活動を多く取り入れていく。いじめや子どもの人権を侵害するような行為に対しては、「いじめや暴力は許さない」という共通認識のもと、被害者に寄り添いながら毅然とした対応で早期解決を目指す。

○「たくましい心と健やかな体を持つこども」に向けて、体力テストの結果を分析し課題を把握し、体育の授業を中心に、体力向上に向けた運動や活動を取り入れる。また、業間や昼休み時間には外に出て遊ぶよう委員会活動等で計画的に取り組む。けがや事故防止のために、定期的な安全点検と段階的な安全教育の充実を努める。

○授業参観や学級懇談会、教育相談、各種行事等において、保護者や地域との交流を積極的に行いながら情報を共有し、教育活動に生かしていく。また、積極的に地域に足を運びながら、地域の人材を活用し、地域の課題を解決する活動を通して、「地域とともにある学校」を目指す。

小中学校関係者評価

授業中、よく集中して学習している。校内が落ち着いた雰囲気になっている。
 校内がきれいになっている。清掃活動が上手になっているからだろう。
 登下校の際、危ないと思うことがしばしばある。安心安全な登下校に向けて、保護者や地域の協力を求めていければよいのではないか。